



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

URL <https://www.bond.co.jp/>

(氏名) 松端 博文

(氏名) 岡本 伸一 (TEL) 06-6228-2877

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	100,978	△1.5	7,584	△9.9	8,070	△9.4	6,078	1.3
	102,546	—	8,416	—	8,911	3.1	6,000	5.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,449百万円 (10.1%) 2025年3月期第3四半期 5,856百万円 (△27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 93.91	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	89.66	—

(注) 第1四半期連結会計期間の期首より、不動産賃貸に係る損益について、売上高および売上原価から営業外損益に表示する方法に変更したため、2025年3月期第3四半期に係る売上高および営業利益については、当該表示方法の変更を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2025年3月期第3四半期に係る売上高および営業利益の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 139,174	百万円 87,150	% 62.3
2025年3月期	136,801	86,672	63.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 86,759百万円 2025年3月期 86,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 16.50	円 銭 —	円 銭 21.50	円 銭 38.00
2026年3月期	—	19.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 16円50銭 株式会社設立100周年記念配当 5円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 142,000	% 4.5	百万円 10,670	% 0.2	百万円 11,200	% 0.1	百万円 8,100	% 0.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	70,414,880株	2025年3月期	70,414,880株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	6,741,236株	2025年3月期	4,056,436株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	64,726,224株	2025年3月期3Q	66,929,093株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(表示方法の変更)	P. 8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、民間消費が節約志向により横ばいに推移したものの、企業の設備投資が持ち直していることで緩やかに回復しました。今後も、政府による経済政策や設備投資の増加などにより景気の回復は継続すると見込まれますが、米国の政策や日中関係の悪化、地政学リスクの拡大、物価高などの影響により、景気の先行きについては不透明な状況が続くと予想されます。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、2025年3月期に策定しました「中期経営計画2027(2025年3月期～2027年3月期)」に基づき、新製品の市場導入などによる新規開拓や成長分野への注力の強化、さらなる事業拡大を推進するために栃木工場に水性接着剤製造所を新設するなど、長期での成長を見据えた設備投資を積極的に実施しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高1,009億78百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益75億84百万円(前年同四半期比9.9%減)、経常利益80億70百万円(前年同四半期比9.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益60億78百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首より、不動産賃貸に係る損益について、売上高および売上原価から営業外損益に表示する方法に変更しており、当該表示方法の変更を遡って適用した後の数値で比較分析を行っております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更)」をご参照ください。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ポンド

一般家庭用分野においては、ホームセンターやコンビニエンスストア向けの売上が低調に推移しました。住関連分野においては、新製品の市場導入は進んでいるものの、前期末の建築基準法改正による駆け込み需要の影響により新設住宅着工戸数が減少し、現場施工用接着剤などの既存製品が低調に推移しました。産業資材分野においては、新規開拓を進めている自動車・電子部品に使用される弾性接着剤の拡販が進んだことで売上が増加しました。建築分野および土木分野においては、建築用補修材が順調に推移したものの、建築用シーリング材の販売数量が減少したことで、低調に推移しました。

以上の結果、売上高は563億12百万円(前年同四半期比0.0%減)、営業利益は51億88百万円(前年同四半期比8.5%減)となりました。

② 化成品

化学工業分野においては、化学メーカー向けに販売している原材料が好調に推移し、売上が増加しました。自動車分野においては、放熱材などの新規採用によりハイブリッド車向け商材が好調に推移しました。電子電機分野においては、スマートフォン向け商材や放熱材の販売が順調に推移し、売上が増加しました。丸安産業㈱においては、コンデンサ向けなど電子部品用商材が好調に推移し、売上が増加しました。

以上の結果、売上高は291億96百万円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は10億30百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

③ 工事事業

工事事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事の大型工事案件の進捗が計画より遅れたことにより、売上が減少しました。なお、工事の受注活動は順調に進捗しております。

以上の結果、売上高は154億69百万円(前年同四半期比15.9%減)、営業利益は13億79百万円(前年同四半期比17.1%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ23億73百万円増加し、1,391億74百万円となりました。

① 資産

流動資産は、現金及び預金が12億79百万円減少したものの、電子記録債権が8億6百万円、商品及び製品が7億4百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増の860億48百万円となりました。固定資産は、無形固定資産が11億73百万円、投資有価証券が10億34百万円増加したこと等により、前連結会計年度末

に比べ20億94百万円増の531億26百万円となりました。

② 負債

流動負債は、未払法人税等が9億42百万円、賞与引当金が7億71百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が31億44百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億69百万円増の446億35百万円となりました。固定負債は、その他が5億23百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億25百万円増の73億88百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、マイナス項目である自己株式が33億32百万円増加したものの、利益剰余金が34億42百万円、その他有価証券評価差額金が7億63百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4億78百万円増の871億50百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2025年4月25日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	21,118	19,838
受取手形、売掛金及び契約資産	35,942	36,219
电子記録債権	16,522	17,328
商品及び製品	8,534	9,239
仕掛品	358	296
原材料及び貯蔵品	1,550	1,802
その他	1,772	1,352
貸倒引当金	△30	△29
流动資産合計	85,769	86,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,856	17,479
その他（純額）	15,897	14,883
有形固定資産合計	32,754	32,363
無形固定資産	3,106	4,279
投資その他の資産		
投資有価証券	9,838	10,873
その他	5,348	5,625
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	15,171	16,483
固定資産合計	51,032	53,126
資産合計	136,801	139,174

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,625	35,770
電子記録債務	2,752	2,735
短期借入金	51	46
1年内返済予定の長期借入金	38	41
未払法人税等	1,861	919
賞与引当金	1,519	748
役員賞与引当金	190	71
その他	4,227	4,302
流動負債合計	43,266	44,635
固定負債		
長期借入金	38	9
退職給付に係る負債	808	839
その他	6,015	6,539
固定負債合計	6,862	7,388
負債合計	50,128	52,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	6,041	6,040
利益剰余金	73,009	76,452
自己株式	△4,508	△7,840
株主資本合計	79,146	79,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,696	4,460
為替換算調整勘定	910	727
退職給付に係る調整累計額	2,500	2,316
その他の包括利益累計額合計	7,107	7,504
非支配株主持分	419	390
純資産合計	86,672	87,150
負債純資産合計	136,801	139,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	102,546	100,978
売上原価	81,693	80,301
売上総利益	20,853	20,677
販売費及び一般管理費	12,436	13,092
営業利益	8,416	7,584
営業外収益		
受取利息	17	39
受取配当金	282	290
不動産賃貸収入	149	151
持分法による投資利益	22	31
その他	200	109
営業外収益合計	671	623
営業外費用		
支払利息	6	16
不動産賃貸原価	69	63
減価償却費	20	35
その他	79	22
営業外費用合計	176	137
経常利益	8,911	8,070
特別利益		
投資有価証券売却益	—	875
固定資産売却益	88	8
特別利益合計	88	883
特別損失		
固定資産処分損	174	6
投資有価証券売却損	—	9
特別損失合計	174	15
税金等調整前四半期純利益	8,826	8,938
法人税、住民税及び事業税	2,380	2,444
法人税等調整額	338	410
法人税等合計	2,719	2,854
四半期純利益	6,107	6,084
非支配株主に帰属する四半期純利益	106	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,000	6,078

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	6,107	6,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165	763
為替換算調整勘定	76	△215
退職給付に係る調整額	△169	△183
持分法適用会社に対する持分相当額	7	0
その他の包括利益合計	△250	365
四半期包括利益	5,856	6,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,729	6,476
非支配株主に係る四半期包括利益	127	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年7月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,868,500株の取得を行いました。この結果、自己株式が3,542百万円増加しました。

この影響等により、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が7,840百万円となっております。

(表示方法の変更)

従来、不動産賃貸収入および不動産賃貸原価につきましては「売上高」および「売上原価」に計上しておりましたが、当社グループにおける不動産賃貸業を整理した結果、第1四半期連結会計期間の期首より「営業外収益」および「営業外費用」に計上する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、売上高は139百万円、売上原価は69百万円、売上総利益は69百万円、営業利益は69百万円それぞれ減少いたしました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,480百万円	2,193百万円
のれんの償却額	96	90

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ボンド	化成品	工事業			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	56,317	27,843	18,385	102,546	—	102,546
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	185	227	461	873	△873	—
計	56,503	28,070	18,846	103,420	△873	102,546
セグメント利益	5,670	1,055	1,664	8,390	26	8,416

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ボンド	化成品	工事事業			
売上高						
(1)外部顧客への売上高	56,312	29,196	15,469	100,978	—	100,978
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	245	220	339	804	△804	—
計	56,558	29,417	15,808	101,783	△804	100,978
セグメント利益	5,188	1,030	1,379	7,599	△14	7,584

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、不動産賃貸収入および不動産賃貸原価につきましては「売上高」および「売上原価」に計上し、「その他」セグメントとして開示しておりましたが、当社グループにおける不動産賃貸業を整理した結果、第1四半期連結会計期間の期首より「営業外収益」および「営業外費用」に計上する方法に変更いたしました。

当該変更を行った結果、当社グループの報告セグメントは「ボンド」「化成品」「工事事業」「その他」の4区分から「ボンド」「化成品」「工事事業」の3区分となっております。この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても組替えを行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。